

会議名	第1回港区子ども・若者政策提案事業運営支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和7年12月17日（水曜日）午後3時30分から4時30分まで
開催場所	港区役所9階914会議室
委員	野上 宏 港区企画経営部長（委員長） 相川 留美子 港区企画経営部企画課長（副委員長） 富永 純 港区区長室長（委員） 西川 杉菜 港区子ども家庭支援部子ども政策課長（委員） 中島 由美子 港区議会事務局次長（委員）
事務局	企画経営部区長室広聴担当 政策広聴担当 石川 久美子、広聴担当係長 井上 正彦、係員 田畑 凜子
会議次第	1 開会 2 選考委員会選考スケジュール（案）について 3 事業候補者募集要項（案）について 4 採点基準表（案）について 5 閉会
配付資料	[データ配付] 次第 資料1 選考委員会設置要綱 資料2 選考委員会委員名簿 資料3 選考委員会選考スケジュール（案） 資料4 募集要項（案） 別紙1 仕様書（案） 別紙2 選考基準（案） 【様式1】質問書 【様式2】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式3】共同事業体構成書 【様式3-2】共同事業体協定書兼委任状 【様式3-3】委任状 【様式4】事業者概要及び業務実績 【様式5】業務従事予定者の経歴及び専任性 【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式7】企画提案書① 【様式8】企画提案書② 【様式9】企画提案書③ 【様式10】プロポーザル参加辞退届 資料5-1 採点基準表（一次審査）（案） 資料5-2 採点基準表（二次審査）（案）

会議の内容	
	【1 開会】～詳細省略～
事務局	【2 選考委員会選考スケジュール（案）について】～詳細省略～ （事務局より資料3について説明）
事務局	【3 事業候補者募集要項（案）について】 （事務局より資料4について説明）
委員Ⅰ	15名程度の中高生を募集するとのことだが、中学1年生～高校3年生まで同じグループで議論するのか。
事務局	その通り。15名のうち関心テーマが類似している方をグループ化する。
委員Ⅰ	中学1年生～高校3年生が一緒のグループで議論するとなると、年代による理解のばらつきが生じると思うが、そのファシリテーションも提案してもらうということか。
事務局	その通り。
委員Ⅱ	3月に研究員を募集するとのことだが、4月から学年が変わってしまうので、生活の変化に対する不安などから、応募してくれる人がいるのか。応募したけれどできなくなったという事態が生じるのでは。
事務局	先行自治体である品川区では同様のスケジュールで実施した事例がある。
委員Ⅱ	仕様書に、高齢者に対するヒアリングを企画と書いてあるが、研究してもらいたい分野が決まっているのか。
事務局	子ども・若者からの政策提案をいただく事業ではあるが、多様な年代の方たちが関わることができるように事業を設計したものである。
委員Ⅲ	3月に研究員を募集し、4月から契約締結するとのことだが、テーマの設定はいつ行うのか。
事務局	区がテーマを設定する。仕様書5（1）に明記している。

委員Ⅲ	採点基準表（一次）において、テーマ設定についても評価項目に含まれているように見受けられるので、修正してほしい。募集は区の責任で行うことについては承知した。
委員Ⅳ	仕様書等に「政策提案」と記載されているが、「政策」は、概念的な政策を意味するのか、具体的な取組を指すのか。
事務局	主権者教育として、自分たちの身の回りのことは自分たちで決めていくという観点から、具体的な取組を提案してもらうことを考えている。
委員Ⅳ	一部の方にヒアリングを実施しても、その結果は EBPM の観点での裏付けデータとはならないのではないかと。
事務局	区内でのヒアリングはフィールドワークのメニューの一つとして企画したい。データの裏付けとしては、区で所有しているデータを活用するほか、国内外の事例調査の助言をしていただくことを考えている。
委員Ⅳ	どのような事業者の応募を想定しているのか。
事務局	コンサルティングや調査を行う会社を想定している。
委員Ⅲ	政策提言という言葉が正しい表現かは確認しておいたほうがよい。取組の提案なのか、政策提案とは何かということ意識しておいたほうがよい。
委員Ⅴ	業者からの質問提出期限について、1月5日（月）と設定されているが、正月休み明けすぐなので、後ろ倒ししてもいいのではないかと。
事務局	1月8日（木）に後ろ倒しとする。
委員Ⅴ	選考基準(案)に、一次審査と二次審査の主な評価項目を書いているが、採点基準表に記載の項目のうち一部に留まっている。採点基準表の評価の視点はすべて選考基準に記載しておいたほうがよいのではないかと。
事務局	修正する。
委員Ⅴ	採点基準表において、見積価格が安くなればなるほど点数が高くなっている。なぜこのような評価にしたか理屈を持っておいたほうがよい。

事務局	プロポーザルガイドラインに沿って設定している。プロポーザルでは価格だけでなく総合的な判断となるが、理由は整理しておきたい。
委員Ⅲ	採点基準表について、特に（３）提案会後のフィードバックについては、どう評価するのかがわかりづらい。（３）アでは、提案内容を区の事業や予算に反映するための取組や工夫が提案されているか、と記載されているが、この内容は、港区で調整すべき事項だと思う。また、（２）ア 運営体制については、採点しやすさの観点から具体的に記載したほうが良い。
委員Ⅱ	政策への反映の項目について、自由な提案をするだけで実現性がない研究にならないように、という意味で捉えていたが、確かに採点する側としては難しい。実現するために、研究生へのファシリテーションとしてこうする等、具体的な内容を記載してもらえるようにしてはどうか。
事務局	事務局にて修正する。２（２）は、所管の並走支援も含めたうえでの運営計画を提案してもらうことを考えていた。（３）フィードバックについては、あくまでも子どもたちに対してのフィードバック方法があるかを提案してもらいたいと考えている。政策提案を区側ができるだけ実現できるよう、形式も含めて支援をしてほしい趣旨。
委員Ⅰ	２（１）エ EBPM の項目について、文章がわかりにくい。また、（３）イフィードバック、次年度の区の予算に反映した内容を研究員に示すという意味か。
事務局	区政方針でもある、EBPM の観点での提案ができるように支援してほしいという意味であるが、文言は修正する。また、フィードバックの方法も様々提案してほしいと考えている。反映した結果を情報発信するためのコンテンツ作成も含めて提案されると良い。
委員長	本委員会で決定する項目について確認する。 提案資料は A4 両面 1 枚程度が審査しやすいと思うが、よいか。 一次審査の通過は 3 者としたいが、よいか。 選考の最低ラインは、第一次審査及び第二次審査のそれぞれの満点の 60% を基準点（最低ライン）として設定することでよいか。 二次審査について、スクリーン投影は認めるが、あくまで一次審査で出した提案書の範囲内でスクリーン投影を認めたい。また、プレゼンの時間は 10 分以内とし、質疑は 20 分程度でよいか。 採点基準表の配点は概ね事務局案とするが、指摘のあった点については事務

委員長	局にて修正するというのでよいか。 (異議なし) 事務局での修正結果は委員と共有したうえで、了承とする。 【5 閉会】
-----	---